

余呉湖の「ワカサギ釣り」に挑戦してみませんか！

【防寒対策を万全に】

ワカサギ釣りは冬の風物詩というだけあって寒さの中の釣りです。

風を通さない服装でカイロ等を入れて防寒対策をしっかりとしましょう。

【釣り場の規定を守って】

余呉湖のワカサギ釣りは桟橋の上からの釣りとなります。桟橋で暖をとったり、釣り上げたわかさぎを調理したいところですが、桟橋施設の保護などの観点から木炭・豆炭・練炭などを燃料とする直火使用や「七輪」の使用は禁止しています。

また、桟橋上で湯を沸かす程度はOKですが、調理をすることも禁止しています。混雑しているときに使用を控えるなどルールを守って楽しい釣り場の環境づくりにご協力ください。

【タックルと入れ物の準備】

これらの規定を遵守したうえで、防寒対策が整ったらタックルの準備です。竿は穂先の柔らかい3~4m程度のベ竿か小型両軸受けリール付の短い竿でも楽しめます。

竿の穂先から道糸をつけ、その下にワカサギ仕掛けをつければタックルの完成です。

一般的な仕掛けは、1.5号程度のナス型の鉤をつけた7本針仕掛けで針の大きさは2号針が中心ですがワカサギの大きさによって針を1.5号針から2.5号針と変えて見ましょう。

(釣道具を持たない人には、竿や仕掛けを販売しています。またエサも赤虫と紅サシの2種類を置いています。)

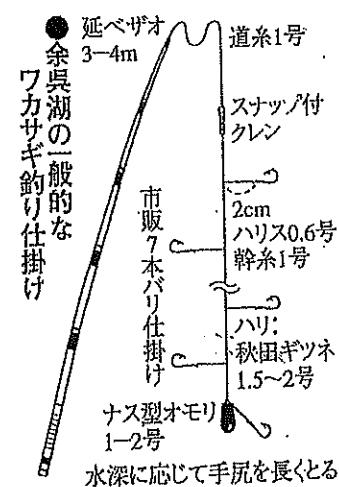
余呉湖での各種料金

遊漁料(環境整備協力金300円含む)

1日券 (大人)	1,400円
(子ども)	800円(小・中学生)

釣具・餌販売

竿(のべ竿)	1,500円
仕掛け(道糸付)	400円
仕掛け(道糸なし)	300円
餌 (赤虫)	200円
餌 (紅サシ)	200円



余呉湖では、餌釣りが基本で赤虫と紅サシが定番となっています。

まきえや、サビキ釣・ヒッカケ釣は禁止です。

【釣り座選びと釣り方】

準備が出来れば、桟橋に入り釣り座選びです。よく釣れている人の隣へ入るのが賢明ですが、無理な割り込みはいけません必ず一声かけて入れてもらいましょう。

桟橋周辺の水深は3m前後です。餌をつけて仕掛けを落とします、オモリが着底したらそこからフワフワと上下に誘いをかけます。あたりがあるとぶるぶると穂先が震えると同時に手元にも感触が伝わってくるのでゆっくりと上げるとワカサギが釣れてきます。

誰にでも簡単に出来る釣です。一度挑戦してみてはいかがでしょうか。